

2023 年 7 月 10 日

J A 広島総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	浅大腿動脈病変に対する薬剤溶出性バルーン治療後の残存解離部の圧格差の検討
倫理委員会承認番号	No.23-38
研究の対象	2021年12月から2023年5月まで当院で閉塞性動脈硬化症、浅大腿動脈病変に対して血管内治療を行い、同部位の圧格差測定を行った44例を後方視的に調査します。
研究目的・方法	近年、浅大腿動脈病変に対する血管内治療では薬剤用溶出性バルーンが第一選択とされるようになりました。薬剤溶出性バルーンによる治療は開存率が良好で、異物を使用しないという利点があります。一方、ステントを使用しないため、治療後もSFAに残存解離があることが問題とされています。先行研究ではGrade Dまでの血管解離に関しては経過観察でよいと報告されており、ステント留置は不要とされています。しかしながら解離部の血行動態を評価した報告はわれわれの検索しえる限りありません。今回自験例、後ろ向き検討で圧測定ワイヤーを使用した解離部の圧格差を測定し、その血行動態について検討します。
研究に用いる 試料・情報の種類	術前または治療開始前の状態、基礎疾患、手術内容、術後経過、遠隔期成績などを診療録、検査データ、画像データの記録を参考に調査致します。従って、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。
外部への 試料・情報の提供	JA広島総合病院心臓血管外科にてデータの集計を行います。このため外部への情報提供は行いません。
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は論文発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ ☒ 無 ()
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 心臓血管外科 研究責任者： 小林平 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	